

# 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局 道路建設課

担当課長名：田中 衛

事業名	一般県道 <small>たまぐすくなほじてんしゃどうせん</small> 玉城那覇自転車道線		事業区分	地方道	事業主体	沖縄県				
起終点	自：沖縄県南城市玉城前川（旧玉城村前川） 至：沖縄県那覇市首里			延長	25.1km					
事業概要	<p>自転車交通の安全を確保し、本島南部地域における優れた自然景観、歴史的遺産等に県民や観光客が自転車や徒歩で容易に接することができるよう、これらを効率的に結ぶ南城市玉城前川を起点とし那覇市首里を終点とする、沖縄のみち自転車道を整備するものである。</p>									
H2年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H2年度用地着手	H3年度工事着手							
全体事業費	約61億円	事業進捗率	77%	供用済延長	12.3km					
事業の効果等	<p>平成16年度までに12.3kmを供用開始し、サイクリングやジョギングへ利用されるとともに自転車利用者、歩行者の安全性が確保されている。また、尚巴志マラソンや全九州サイクリング大会等のイベントにも活用されている。</p>									
関係する地方公共団体等の意見	<p>平成元年8月に南部地域7市町村からなる「沖縄のみち自転車道整備促進期成会」が結成され、整備促進の要望がある。</p>									
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>平成12年12月に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産の登録を受けて、沖縄の文化遺産等が内外から注目を浴びており、景観等に配慮した美しい県土を形成することが求められている。また本事業は平成18年1月に4町村が合併して誕生する南城市の新市建設計画にも位置づけられている。</p>									
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成16年度末までに事業進捗率は77%であり、現在までに12.3kmを供用している。</p>									
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>一部において用地補償交渉が難航し期間を要したが、平成22年度までに用地取得を完了し、平成23年度に全線供用予定である。</p>									
施設の構造や工法の変更等	<p>自転車道単独整備区間を、現道併走整備区間や既に整備されている広幅員道路との路線重用とすることにより、コスト縮減を図った。</p>									
対応方針	事業継続									
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。</p>									
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p><b>位置図</b></p>  <p>130 一般県道玉城那覇自転車道線 (沖縄のみち自転車道)</p> </div> <div style="flex: 2;"> <p><b>一般県道 玉城那覇自転車道線(沖縄のみち自転車道) 計画図</b></p>  <p>終点・那覇市首里</p> <p>起点・南城市玉城前川</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>凡例</p> <table border="1"> <tr> <td>再評価対象事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち供用中</td> <td></td> </tr> </table> </div>						再評価対象事業		うち供用中	
再評価対象事業										
うち供用中										